



# 六周年迎えましたで、医療コンソーシアム

工場、僕、白衣の大畑先生、ビル、廊下、僕と大畑先生すれ違う。

タイトルバック「魂 サムライ」……。

「看護師さんとかが、病院で困ってるもんがあんねん。先生方はみなアイデア持ってる。それをつくるんのに、つくる団体がほしいんや、というのがきっかけなんです」と僕。

「私は外科医なんですけど、手術をしやすくして治療成績がよくなる、ということが非常に大事です。ふだんからいつも、ものづくりのことを考えてまして、理事長に就任しました」と大畑健治大阪市立大学大学院医学研究科長・医学部長。

ものづくり医療コンソーシアムのホームページにある「集え！サムライ達！」のビデオは、こう始まります。

そして、医療という裾野の広い分野へ、中小企業が参加してくれるように呼びかけて、その成功例として、格安練習用内視鏡の下町スコープを紹介します。

下町スコープについては、何回も触れてますから、簡単に説明しますと、今までになかった、教材として使える内視鏡です。内視鏡は、口、鼻や肛門からレンズのついた先端を体内に入れて、それが映す画像を医師が見て、診断や治療を行なうという医療機器です。

現状は、どこの医療現場でも、内視鏡が足らずに、数本で五〇人ぐらいが勉強しているらしいです。

下町スコープの値段は、医療用内視鏡の一〇分の一ですよ。この練習用の普及によって、関係者の医療技術が向上すればええなあ、と思ってます。

## 素材を提案したのは医療やなくて衣料メーカーでした

中身の濃いビデオです（笑い）。内容をはしりますと、下町スコープの他にも、開発した製品、フレックスパンダーと貼れ晴れシートを紹介してます。

このビデオではくわしく触れてませんが、フレックスパンダーは、スズが九九・九パーセントの〇・六ミリの板です。スズ板はチューインガムのような柔らかさがあり、ピンセットで簡単に曲げ伸ばしできます。

これは心臓弁膜症の手術に使われます。小さな傷から安全に手術をするために、スズ板を、心臓内部の視野を広げるのに役立てるそうです。

面白いのは、素材を提案したのは、医療やなくて、衣料メーカーの（株）オーゼットケーさんです。この会社はブラジャー

